

神石高原町 観光ガイド

～春を告げ 福を招く 福寿草～

神石の草木地区に福寿草の里があります。この福寿草は十数年前から自生していて、備北でもこの様に群生している所は稀で数少ないようです。



福寿草は春一番新年を祝う花として喜ばれ、別名ガンジツソウ（元日草）、北国ではマンサクと呼ぶこともあり、福を招く、縁起の良い花として喜ばれ、福寿草の名が付けられたようです。開花期は3月下旬から4月頃で5月下旬には実を結んで活動を終わります。

ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

イベント情報

帝釈峡カタクリ祭り

日時：4月8日（土）～9日（日）
9:00～16:00

場所：神龍湖 神龍橋周辺

お問い合わせ：神石高原町観光協会
☎ 0847-89-5005

イベント情報

第3回草木福樹川マスを釣り大会

日時：4月9日（日）
～10日（月）

場所：神石高原町 草木福樹川

お問い合わせ：
神石高原町草木 田島義明
☎ 0847-88-0240



農林局地域営農課 ☎ 084-921-1311

3月

神石高原の農業

【基礎講座】

気象

三月になると、春の気配が近づきますが、まだまだ寒暖を繰り返すので、注意が必要となります。この時期はナタネ梅雨とも言われ、曇雨天が続いて農作業ができなくなることも多くあります。

【今月の作付け】

苗床へ播種→なす、ピーマン、トマト、ナス、アスパラガス

はくさい、キャベツ、レタス

ねぎ、ほうれんそう、まっとな、チンゲンサイ

植付 けーばれいしよ、

なす、ピーマン、トマト

ナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

【今月のポイント】

水稲

《水稲の育苗準備》

五月の連休に田植えを行う計画の場合、四月上旬から種

子播き作業が始まるので、三月中旬には、準備しておきましょう。三月下旬からは、種子もみの準備が始まります。まず温水選を行い、不良ミを取り除き、次に種子もみの消毒を行い、ハトムネ状態まで催芽したものを播種します。

《水田の土作り》

秋に土作りができなかった方は、完熟堆肥、ミネラルの土壌園を、これからでも施用できる土へ入り資材を使用しましょう。

また、作土が浅い水田では、少しでも作土を深くするよう深耕するようにしましょう。

作土や耕盤が均平でない水田では、水を入れる前に耕盤の手直しをしておきましょう。

《果菜類の育苗》

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

なす、ピーマン、トマトなどナス科野菜は三月下旬から播種し、すいか、かぼちゃ、きゅうりなどつくり科野菜は三月下旬から播種するのが適期

です。種子を播く前に、水に一昼夜くらい浸けてしっかり吸水させ、次に濡らした布にくるんで芽を出します。

芽が出始めた種子は、地温二十五℃に温めた播種床にスジ播きします。覆土は種子が隠れる程度に軽く行い、乾燥防止に不織布が新聞紙を掛けます。発芽したら徒長しないよう、日光をしっかりと当てておきましょう。

双葉が展葉して、ナス科野菜は本葉二〜三枚頃、ウリ科野菜は本葉一枚頃、育苗ポットに鉢上げします。

《春ばれいしよの播付け》

春ばれいしよは一片が三十グラムくらいになるように、頂芽から縦割りに切断します。S玉でも尻部分を切っておくと発芽が良いでしょう。切口は乾かしてから植付けましょう。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。

桑間六十cmおきに入し溝を切って、株間二十五cm間隔に種子いもを置いて、株間に元肥を入れて土をかけます。